



伊藤恵理

社会と対話し、次世代航空宇宙モビリティを共創する

航空宇宙モビリティサロン

RC-119

代表幹事

伊藤恵理（東京大学 先端科学技術研究センター 教授）

幹事

関根将弘（東京大学 先端科学技術研究センター 助教）

連絡先

八木純子

（航空宇宙モビリティサロン事務局・事務局長）

e-mail: salon@aerospacemobility.com

主旨

【目的】

1. 航空輸送を含む、日本のサプライチェーン強靱化に向けた政府・企業戦略を学び議論する場を設ける。
2. 未来の航空宇宙輸送および空港運用をデザインする。
3. アジア環太平洋地域の航空輸送システム刷新を支援する。

【テーマ】

航空宇宙輸送・航空交通管理・航空管制・空港運用・宇宙利用・DX・航空ネットワーク・モビリティ・旅客移動・物流・サプライチェーン・国際関係・政治経済・地政学・地経学

【設置について】

今後、航空輸送需要はますます増加し、特にアジア環太平洋地域に集中すると予測されています。将来的には、日常的に宇宙往還機などが空港を往来するなど、さまざまな形態の運航に関わることも予想されます。

一方で、気候変動の影響、管制官・パイロットなどの人手不足、日本をとりまく地政学的リスクなどの課題は深刻です。航空安全を担保しながら、航空輸送を含む日本のサプライチェーンをいかに強靱化するのか。これまで比較的手薄だったサプライチェーン分析に「輸送」という新たな側面を加え、経済安全保障の強化はもとより、航空ネットワークにおける地方創生にも波及する対策を考えなければなりません。

このような複雑かつ大規模な課題に立ち向かうには、多様な背景や特性をもつ人びとが集まり、必要な知をつないでいくとともに、新しい航空宇宙輸送システムを共創する場が必要です。

そこで『航空宇宙モビリティサロン』では、産学官の対話により、将来の航空宇宙輸送をデザインします。そして、東京大学・先端科学技術研究センターに設立した『航空宇宙モビリティラボ』（伊藤恵理研究室）と連携し、世界を実験室とした次世代航空宇宙モビリティの共創につなげます。また、伊藤恵理研究室の知見の共有のみならず、国内外の専門家ゲストを招聘した講演会や、皆様の課題を共有して頂き意見交換を行うディスカッション、そして相互交流を育む懇談会を開催します。

『航空宇宙モビリティサロン』は、対話による航空宇宙輸送の未来共創に関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしています。

年会費：賛助員の場合：40万円（1社1名から3名まで）

（別途賛助員年会費1口10万円がかかります）

参加費：非賛助員の場合：50万円（1社1名から3名まで）

1社4名から10万円/1名

1社あたりの参加人数上限はありません。

運営方法：特別研究会を年に3～4回程度

（実施内容例：講演会・参加企業も交えたディスカッション・懇談会）

特別研究会申込方法

下記連絡先まで電子メールでお申し込みください。

連絡先：一般財団法人 生産技術研究奨励会 特別研究会係

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内Dw405

e-mail : renhisho@iis.u-tokyo.ac.jp



●HPアドレス : http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_2026.html

●特別研究会会員規則 : http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_gazou/rc2026/RC-kaiin-ki.pdf

2026年度 特別研究会申込書

特別研究会会員規則に同意の上、お申し込みください。

申込日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

いずれかに○をつけてください。

[] 新規

[] 継続 (継続参加の場合も、年度毎に申込書をご提出ください。)

(1) 特別研究会No. : RC-

(フリガナ)

(2) 貴社名 :

(3) 参加者 (参加者複数の場合は、代表者をご記入いただき、その他の方は別紙でご提出ください。)

(フリガナ)

■氏名 :

■所属 :

■役職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■E-mailアドレス :

(4) 事務担当連絡先 (上記(3)と同一の場合、ご記入の必要はありません。)

(フリガナ)

■氏名 :

■所属 :

■役職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■E-mailアドレス :

賛助員について

いずれかに○をつけてください。3と4については賛助員年会費の口数をご記入ください。

- 既に賛助員である。賛助員担当者について、上記担当者と同じ
- 既に賛助員である。賛助員担当者について、他部署の者
- 既に賛助員であるが、増口する。→ _____ 口に増口 (1口につき賛助員年会費10万円)
- 賛助員未入会につき、新規申込みをする。→ _____ 口で新規申込み (1口につき賛助員年会費10万円)
- 賛助員申込みをしない。

ご不明の場合には、上記までお問い合わせください。

賛助員の詳細については、<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/memberhp.html>をご覧ください。